

一、筑波大学哲学・思想学会会長及び評議員の選出

○平成十三年四月二十一日(土)に開催された第一回評議員会において、互選により、新会長に河上正秀氏が選出された。

○学会規約にもとづいて、河上会長の推薦により、次の二名が会長推薦の評議員に選出された(評議員選挙により、十九号記載の十七名が既選出)。

小野 基、竹村喜一郎、谷川多佳子

(五十音順、敬称略)

二、評議員会の開催

平成十三年四月二十一日(土)、第一

回評議員会が筑波大学人文・社会学系

棟八階会議室において開催された。

○平成十三年度の活動方針が審議された。

○審議内容のうち、会長の選出に関しては一に記した通りである。

○編集委員に、伊藤 益、笹澤 豊、竹村

喜一郎、棚次正和、谷川多佳子、山中弘の各氏が委嘱された。

○幹事に、上田 徹、平良 直、永野拓也、

中村正利、宮本要太郎の各氏、及び鈴木

寛が委嘱された。

平成十三年十月十三日(土)、第二回

評議員会が筑波大学人文・社会学系棟

二階小会議室において開催された。

○幹事に、滝 真一、土井裕人、馬場智理

の各氏が委嘱された。

三、第二十二回学術大会の開催

筑波大学哲学・思想学会第二十二回大

会は、平成十三年十月十三日(土)、

筑波大学人文・社会学系棟一階大会議

室を会場として開催され、以下の研究

発表、公開講演および総会が行われた。

[研究発表]

1 ハイデガー『存在と時間』をめぐる白

己と他者、〈死〉について

2 プラトニズムの知をめぐる一考察

3 ライブニッツにおける表出論の射程

土井裕人

4 アリストテレスは因果的決定論を反駁

しているのか?

5 環境倫理と経済問題

〔公開講演〕
自己と人生設計と宗教
—ポスト・モダンの宗教—
筑波大学名誉教授 井門富二夫氏

清水洋貴

上田 徹

笹澤 豊

井門富二夫氏

〔総会〕

○活動報告 鈴木寛幹事より、平成十二年

度の活動報告がなされ、承認された。

○会計報告 鈴木寛幹事より、別表の通り

平成十三年度会計報告(平成十二年四月

日)平成十三年二月三十一日)がなされ、

承認された。

○会計監査員の選出 塩尻和子、橋本康二

の両氏が会計監査員に選出された。

四、編集委員会の開催

『哲学・思想論叢』第二十号の第一回

編集委員会が五月十六日(水)筑波大

学人文・社会学系棟八階教育談話室に

おいて開催された。

○編集委員長に棚次正和氏が選出された。

○第二十号の編集方針・日程等が検討された。

第二回編集委員会が九月十二日(水)に第一回と同じ場所で開催された。

○第二十二回学術大会研究発表者の選考が行われた。

○投稿論文の審査について検討された。

第三回編集委員会が十月十日(水)に前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文が審査された。

五、会員異動

○新入会員 沼澤 元、鈴木恵理名

久保 徹、沈 善瑛、劉 雅婷

滝 真一、廖 欽彬、青木英樹

飯高敏和、岩崎真紀、渡辺たまき

大倉史江(準会員)

○退会会員 黒木純三、小山三男

前原邦博、永井 博、秋山 学

竹田篤司、藤川富士子(逝去)

石井忠厚(逝去)、阿内正弘(逝去)

(平成十三年十二月十八日 鈴木 覚記)

筑波大学哲学・思想学会平成12年度会計報告

(平成12年4月1日～平成13年3月31日) 会計担当幹事 鈴木 覚

収 入		収 出	
前年度繰越金	1,327,820	機関誌作成費	509,775
利子	846	通信費	97,730
学会費	790,000	アルバイト代	43,000
抜刷代金(立替分)	39,375	大会開催費	10,529
		評議員会開催費	51,200
		学会封筒印刷費	21,000
		事務用品代	903
		次年度繰越金	1,423,904
計	2,158,041	計	2,158,041

『哲学・思想論叢』

第二十一号原稿募集

・原稿締切日

平成十四年九月四日(水)

・左記論文執筆規定をご参照の上
ご寄稿下さい。